

とどろき利治の

メン!!

# 国会 一本勝負



プレス民主 号外 《発行元》民主党参議院比例区第5総支部

轟木利治事務所 参議院議員会館 518 号室 Tel:03-3508-8518/Fax:03-5512-2518

ご安全に、とどろき利治です。9月24日に臨時国会が開会して以降、衆議院解散→総選挙に向けて政局は日に日に緊迫しています。10月14日現在では、今週に参議院で補正予算の審議を行なうことは決まっていますが、その後のことはまったく予断を許しません。今号では、近況と当面のトピックスを中心にお伝えいたします。

## 県本、構成組合の大会で挨拶をさせていただいております

定期大会シーズンを迎え、県本部・構成組合で、挨拶の機会をいただき有難うございます。国会での日程が許す限り、大会に出席させていただいております。大会での挨拶では、衆議院選挙の各地域における民主党候補を支援していることも訴えています。今回都合がつかない県本部・センターには、またの機会をとらえてぜひお邪魔させていただきます。

## 総選挙間近、政権交代を

### 1)与野党入れ替わった所信表明演説

9月29日に麻生首相の所信表明演説があり、10月1日には民主党小沢代表がそれに対する代表質問に立ちました。多くの方がテレビなどでご覧になったと思いますが、一体どちらが政権与党なのかわからないような演説でした。

麻生首相の演説は何度も民主党に対する問いかけがあり、まるで野党の代表質問のようであり、また施政方針の内容もあいまいなものでした。それまでの小泉路線を引き継ぐのかどうか、世界的な金融危機にどう対処するのか、国民が一番不安に感じている社会保障をどうするのかなど、重要なことについて何一つ明確なメッセージがありませんでした。

これに対して小沢代表の演説は、代表質問というよりも所信表明演説でした。それは民主党政権の基本方針を表明したものであり、「国民の生活が第一」の理念のもとで、政治・行政の仕組みそのものをつくり変える必要性を強調しました。

「格差がなく公正で、ともに生きていける社会」の実現のために、①官僚の天下り

と税金のムダづかいをなくし、税金を国民の手に取り戻す、②「年金通帳」の交付によって「消えない年金」「消されない年金」への制度改正、後期高齢者医療制度の廃止、③月額2万6千円の「子ども手当」など子育て支援、④非正規社員の均等待遇と2カ月以下の派遣労働の禁止、⑤農業の「戸別所得補償制度」の創設で農林漁業の生活不安をなくし、食の安全を確保、中小企業への法人税税率の原則半減など、「新しい生活をつくる5つの約束」を発表しました。さらにこれらの政策を実現する時間的な工程、政治が役所をコントロールできる仕組みと財源を明らかにしました。

## **2)補正予算の対処療法だけでは明るさは見えない**

2008年度の補正予算が衆議院を通過し、10月14日から参議院で審議されています。補正予算の規模としては1兆8千億円であり、「何も無いよりはまし」という程度のものですが、景気の悪化をふまえれば成立させるべきものです。

しかし、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機は深刻化しており、対策に本腰を入れる必要があります。わが国の緊急経済対策としては、減税などと並んで企業の資金繰りなど信用収縮に対する金融対策が必要です。政府は追加的な補正予算と言いつつ、そんな対処療法だけではダメです。国民から信を得ていない麻生内閣で、根本的な金融経済対策ができるはずがありません。

## **3)問題山積の打開は、政治が役所をコントロールできる仕組みづくり**

10月6、7日に衆院予算委員会が開かれ論戦が行われました。民主党からの追及で次々に明るみになる問題は、「開いた口が塞がらない」ものばかりです。

①「消された年金」問題は、従業員から預かった年金保険料を未納にしている経営者が社会保険事務所に相談に行ったら、標準報酬月額を実際より低くみせかけ未納期間も無くすというデータの改ざんを持ちかけられたというのが典型的な事例です。

②後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を一括りで保険を作ろうという無理な話です。それを「後期」と呼んだことや、保険料の年金からの天引きという理不尽への反発もありますが、そもそも病気になりがちの人だけを一つのグループにして保険が成り立つはずがありません。

③事故米不正転売問題は、事故米を食用米と同様に扱ってきた農水省の検査体制に端を発したものであり、関係公益法人に役人が天下りする構図も見えてきました。

これらの問題は、いずれも政官癒着のもとで、国民生活に密着した課題を「役人まかせ」にしてきたことから起きたものです。違反した役人を罰するだけでは、トカゲの尻尾切りです。野党からの資料請求に対して、自民党はその資料を野党に渡す前に見せろという「事前検閲」を要求する始末であり、政治が役所をコントロールする仕組みづくりは民主党政権のもとでしか期待できません。

## **前任の井出同様、よろしくお願ひします**

9月より石塚がとどろき事務所で政策秘書をやっています。ご意見、ご要望をなんなりとお寄せください。今回は以上です